

地域共生型福祉施設

やすらの里だより

2016年7月 No.7

発行者：やすらの里広報委員会

笑顔のまわりに広がるつながり

よさのうみ福祉会 ワークセンター花音 平井 弘美

やすらの里は、施設全体の真ん中あたりに「絵本コーナー」があります。床のカーブや壁に丸く開けられた穴は、大人も遊び心をくすぐられます。これは、「子どもも高齢の方も障害のある方も垣根を越えた施設づくり」というコンセプトのもと、建設時に施設の中心に子どもが集まれる場所を造ったものです。

「絵本コーナー」横のやすら苑地域交流室では、週3回与謝野町の子育て支援センターが開かれていて、0歳から4歳くらいまでの子どもさんとお母さんが集まり、とてもかわいい姿やにぎやかに遊んでおられる様子が見られます。その声に引かれて、特養やデイサービスのご利用者の方が子どもさんの顔を見に来られ、ほほえましくほっこりとした空気が流れます。

ワークセンター花音で働くメンバーも休憩時間に訪れ、子どもさんと顔なじみになったり、若いお母さんや保育士さんと話をしたり、仕事の合間に大切な時間を過ごしています。

また、子育て支援に来られた方が、帰りに喫茶花音に寄ってパンを買っていただいたり、ランチを食べていただくこともあり、子ども好きのスタッフは笑顔で声をかけさせていただいています。

ある方は、「子育て中のお母さんにとっては、一回行って見たらまた行きたい大切な場所。そして、デイサービスのご利用者の方が子どもの名前を覚えて声をかけていたり、喫茶店で知り合いの人に久しぶりに出会って話がはずんだり、とても有意義な時間が過ごせます。」と言われます。これからも、やすらの里での出会いとつながりが広がっていくよう歩みを進めていきたいと思っています。



やすら苑

へやすら苑産の野菜を作っています！

『こんなところに畑があったんかあ』初めて見られる方は、苑内に畑がある事に驚かれ何が育っているか興味を持たれています。

昔から畑作業をされていた利用者様もおられ「食」への関わりの一として、畑で季節ごとの野菜作りを進めています。更地からのスタートで土を運び、肥料を撒いて耕し、今では二畝出来ています。利用者様にアドバイスを頂きながら、きゅうり、えんどう豆、玉葱などが収穫でき、献立に取り入れやすら苑産の野菜を美味しく頂いています。

形がいびつな物や小さい玉葱が取れたりしますが、またそれで笑いが起こり楽しんで頂いています。今はじゃが芋の収穫を待っていますので、またご報告できたらと思います。



どんなジャガイモが採れるかな♪



たくさん採れました



えんどう豆も(笑)

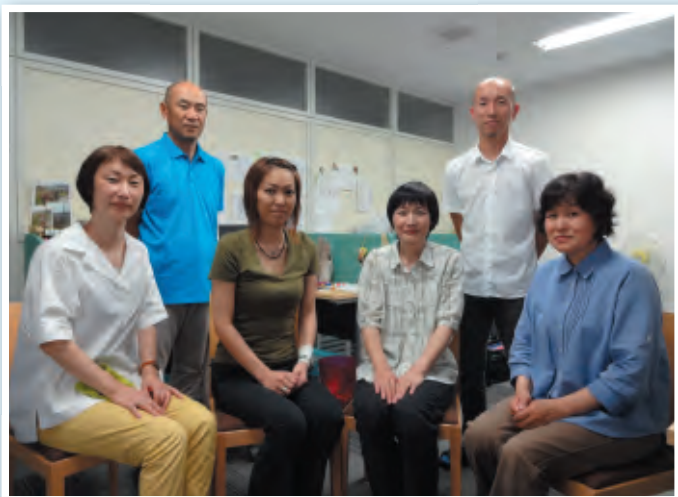
やすらの旋風かせ

●居宅支援事業所(ケアマネジャー)

当事業所には現在、常勤5名と非常勤1名の計6名のケアマネジャーがおり、それぞれが担当となり日々業務にあたっております。

私たちケアマネジャーの仕事は、ご本人やご家族から頂く「相談」から始まりです。そのほとんどが日常生活においての「困り事」についてです。「入院中だが退院しても良いと言われ、帰って今まで通りの生活ができるか心配」、「最近家に籠りがちなのでデイサービスを利用したい(させたい)」や「足腰が弱くなってきたので、家に手すりを付けたい」など、相談の内容は様々です。そんなあらゆる相談に、ベテランから若手(？)まで6名のケアマネジャーが知恵を出し合い、意向にそった提案や援助が出来るように心がけております。

介護について相談がございましたら遠慮なく連絡下さい。



ワークセンター 花音

〈ワークショップ開催〉

喫茶花音では、食事やコーヒーの提供だけでなく、お客様にもっと楽しんでいただくため、またより幅広いお客様に花音を利用していただくために様々な取り組みを始めています。午後からのアイドルタイムを使った「ワークショップ」がその一つです。

☆「パステルはがき絵遊びワークショップ」

今年3月から毎月一回開催し、6月27日(月)に四回目を開催しました。

講師は、網野町で教室を持っておられる山下葉子先生。型紙を使って、粉にしたパステルを指で付けて描いていきます。絵が苦手な人でもきれいに仕上がるので、初心者の方でも仕上がりには大満足。「絵は苦手だけど、これなら自慢できる！お友達に送るわ」と次回も絶対来るね！」と言っていただけでした。次回は8月6日(土)に予定していますので、是非ご参加ください。

☆6月25日に行った「山のお香づくりワークショップ」

講師は、岡山県在住の安井美江先生。ヒノキや杉の粉を使った、自然な香りのお香作り。宮津や橋立で開催され、とても人気のあるワークショップです。粉を自分でコネコネ。子供さんも粘土遊びの様に楽しんでおられました。10名もの参加者さん達は、初対面にもかかわらず、先生の人柄もあってか終始ワイワイ楽しそうでした。ワークショップ終了後も、先生を囲んでケーキを食べながらしばし歓談。これを機会に初めて花音に足を運んでくださった方もあり、よりたくさんのご縁ができて、有意義なものになりました。



職員紹介

①法人名 ②所属 ③氏名 ④ひとこと



- ① よさのうみ福祉会
- ② ワークセンター花音・「厨房班」・支援員
- ③ 渡辺 信一 わたなべ しんいち
- ④ 「ワークセンター花音の渡辺です。やすらの里の厨房を使って、ワークセンター花音の利用者と一緒に毎日楽しく給食の下処理をしています。やすらの里の他の施設の職員と協力して頑張っていきたいと思いますので、これからも宜しくお願いします」



- ① 与謝郡福祉会
- ② やすら苑2階 つばき通り 係長
- ③ 有田 眞理 ありた まり
- ④ ご利用者と職員が第二の家族のように、その人らしく毎日楽しく過ごす事ができるようがんばっています。家に遊びに来たように気軽に来て下さい！



- ① 丹後福祉応援団
- ② 訪問介護事業所・サービス提供責任者
- ③ 山本 仁美 やまもと ひとみ
- ④ 「ヘルパーを始めて9年目になりました。何年経っても勉強する事ばかりで、ヘルパーの仕事は奥深いと感じています。これからも辛い所に手が届くヘルパーになれる様頑張りたいと思います」

サテライトみのり

「脱水についてのおはなし」

暑い季節がやってまいりました。

みのりの事務所も窓から通りぬける涼しい風に、一瞬ですが幸せを感じております。

さて、「この時期心配なこと」と言えば・・・



「頭が痛くて痛くて病院いったら脱水だったわ！」

「熱が出て風邪かと思ったら脱水と言われた！」

「糖尿の数値が高い言われて…。で結局、脱水だったわ！」

と、毎年、脱水フレーズをよく聞きます・・・



脱水・熱中症予防に、経口補水液も市販されており強い見方ですね！

飲み方は、「グビグビよりチョビチョビ」

一気に飲まず「少しずつを何回も」が理想的です☆

急な脱水症状のとき・・・スポーツ飲料などが用意できないとき、
台所でパッと手軽に作れる飲料水を紹介します！！

水 1ℓ ・ 塩 3g ・ 砂糖 40g

この3点があれば、市販のスポーツ飲料と同等の物が作れちゃいます♪
レモン汁を加えたり、味を付けてみるのも良いかもしれませんね。

まずは、予防をしながら、暑い季節も笑顔で体調よくすごせますように☆



地域共生型福祉施設 やすらの里

〒629-2403 京都府与謝郡与謝野町字加悦 802 番地 7

社会福祉法人与謝郡福祉会 特別養護老人ホームやすら苑
施設長 土居正志
☎ 0772-43-2500 Fax 0772-43-2501

特定非営利活動法人丹後福祉応援団 在宅複合型施設やすらの^{かせ}旋風
理事長 三井真里
☎ 0772-44-1122 Fax 0772-44-1155

社会福祉法人よさのうみ福祉会 ワークセンター花音
管理者 平井弘美
☎ 0772-44-0022 Fax 0772-42-2022

京都府看護協会天の橋立訪問看護ステーション サテライトみのり
管理者 三宅佳代子
☎ 0772-43-0225 Fax 0772-42-0226



編集後記

右横の写真は、三河内にお住まいの須田さんから頂いた俳句です。紫陽花の美しさと鮮やかさが伝わってくる俳句で、喫茶に飾らせて頂いています。ぜひご覧になって下さい。暑さが厳しくなりますが、皆さまご愛下さいませ。

広報委員 I・Y

